

看護学教育評価
評価報告書

受審校名 公立大学法人三重県立看護大学看護学部看護学科

(評価実施年度) 2021 年度

(作成日 2022 年 3 月 11 日)

一般財団法人 日本看護学教育評価機構

I. 総合判定の結果

(適合 不適合 保留)

認証期間：2022年4月1日～2029年3月31日

II. 総評

三重県立看護大学看護学部の教育理念は、県立大学としての設置の趣旨に合致し、教育目標は教育理念を具現化している。また、教育目標と整合性のあるディプロマ・ポリシー（以下、DPとする）が明示され、そのDPとの関連性が明確なカリキュラム・ポリシー（以下、CPとする）が示されている。高大接続事業における育成プログラムでは、主体的に学ぶ心構えを作るという工夫にとどまらず、看護職者を目指す高校生の未来を見据えて、高校生・保護者・県内医療機関との連携強化を図る取り組みが行われている。

教育課程における教育・学習活動として重要な各授業シラバスには、当該科目とDPとの関連およびCPを反映した教育方法と学生への期待が記載されており、学生が修得すべき能力を理解しながら学修するための内容となっている。教員の活動をさらに活性化するための「教員活動評価・支援制度」があり、有効に活用されている。研究能力向上を目指した組織的な支援も行われており、科学研究費補助金採択率は全国大学平均を上回る実績をあげている。社会貢献活動に関しては、附設する地域交流センターに全教員が兼務して活動する体制がある。本センターにおける活動は社会貢献であるとともに、教員が地域特性や変化する社会のニーズを把握し、看護職や地域住民とつながる機会にもなっており、高く評価できる。臨地実習に関する重要事項は実習要項に明記され、学生・教員・実習施設関係者に周知されている。また、実習指導体制の強化を図るため、臨地教授制度・人事交流制度を運用しており、その効果も確認できることから、優れた取り組みと評価できる。

教育課程の評価としては、学生による授業評価、教員による学修評価に加えて、学生・卒業生・卒業生の就職先を対象として、同じ評価項目による学修成果に関する調査を実施している。看護管理者に対して、卒業生の評価を聞く機会も設けている。また、定期的に卒業生を対象とした調査を実施し、明らかになった課題に組織的に対応している。

DPとの整合性のあるアドミッション・ポリシー（以下、APとする）は、高校生・高等学校教諭・保護者にとってわかりやすく示されている。また、高大接続事業において、大学の教育内容と入学者の進路選択のミスマッチを防ぐため、入学前からキャリアデザイン教育プログラムを実施している。本プログラムを受講した入学者には休学・退学者が出ていないという実績が得られており、意義ある取り組みと評価できる。

一方、看護学教育プログラム全般に関して重要な職責を担う責任者の選考基準は明文化されておらず、現状では、日頃の仕事の様子や面談・教員活動評価・支援制度の結果等により学長が指名している。今後は、選考基準を明確にしていく必要がある。

なお、「自己点検・評価報告書」には、推奨観点も含めて根拠資料に基づいて現状と組織的な取り組み、さらには課題があると自己評価した部分については改善の方向性を示している。また、実地調査において学生や若手教員からも、自己点検・評価報告書に示された取り組みと合致する意見が述べられていた。自己評価に基づく改善に組織的に取り組んでい

ることが認められる。

　　今後は、充実した着実な取り組みの継続のみならず、自己点検・評価を通してのさらなる発展と、優れた取り組みの成果を国内外に発信していくことを期待する。

以上